大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2022年第21週(5月23日~5月29日)

今週のコメント

~感染症予防の基本~ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「咽頭結膜熱 増加」

第21週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,362例であり、前週比13.4%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しんの順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.98、0.64、0.36、0.30、0.30である。

感染性胃腸炎は前週比11%増の981例で、南河内9.19、中河内7.05、北河内5.81、泉州5.15、三島5.12であった。

咽頭結膜熱は74%増の127例で、中河内1.10、大阪市北部1.07、北河内1.00である。

RSウイルス感染症は45%増の71例で、豊能1.13、大阪市北部0.57、南河内・大阪市西部0.50であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は23%減の60例で、中河内0.90、泉州0.55、北河内0.42である。

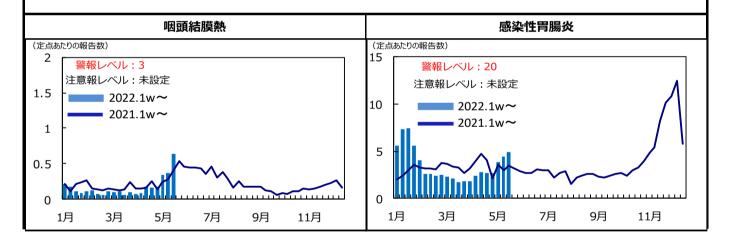


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2022年第21週5月23日~5月29日)

| 第21週 の順位 | 第20週 の順位 | 感染症 | 2022年 第21週の 定点あたり 報告数 | 前週比增減 | 2021年 第21週の 定点あたり 報告数 | 2022年第21週の 年齢別 患者発生数 最大割合値 |
|-------------|-------------|----------------|--------------------------------|-------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1 | 1 | 感染性胃腸炎 | 4.98 | 11%増 | 3.36 | 1歳_20% |
| 2 | 3 | 咽頭結膜熱 | 0.64 | 74%増 | 0.41 | 1歳_50% |
| 3 | 5 | RSウイルス感染症 | 0.36 | 45%増 | 5.03 | 1歳_34% |
| 4 | 2 | A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 0.30 | 23%減 | 0.76 | 3歳_18% |
| 4 | 4 | 突発性発しん | 0.30 | 15%減 | 0.38 | 1歳_52% |

突発性発しんについて、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2021/22年シーズンのインフルエンザ集計は第12週で終了しました。

日本紅斑熱とは(国立感染症研究所)

~日本紅斑熱~ 大阪府では2022年、21週時点で3例の報告があり、過去4年間の同時期と比較して多い

全数把握感染症 日本紅斑熱 日本紅斑熱は、紅斑熱群リケッチアの一種 Rickettsia 12 japonica を起因病原体とし、野山でマダニに刺咬されることによ **—— 2018** り感染する。媒介ダニの活動が活発化する4月~10月に発生 •••• 2019 10 -し、特に9月、10月は多い。自然界で保菌あるいは感染する動 • 2020 物として、げつ歯類、野生のシカ、イノシシなどがあげられる。 **-- -** 2021 8 潜伏期は2~8日であり、頭痛、発熱、倦怠感を伴って発症す 累 2022 る。発熱、発しん、刺し口が主要三徴候であるが、必ずしも、刺し 報 6 口があるとは限らない。発しんは、体幹部より四肢末端部に強く出 告 現し、検査所見では、肝逸脱酵素の上昇、血小板の減少が認め 数 られる。治療には、抗菌薬投与が効果的であり、第一選択薬は テトラサイクリン系の抗菌薬である。また、ニューキノロン系抗菌薬 2 が有効であるとの報告もある。β-ラクタム系の抗菌薬は無効であ る。大阪府では2020年に過去最多の11例の報告があった。 n 0.11/四 0.0000 0.0000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.0000 0.0000 0.000 0.000 0.0000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 日本紅斑熱とは(大阪健康安全基盤研究所)

表 2. 大阪府全数報告数(2022年 第21週5月23日~5月29日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

| | 疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略 | 報 告 数 | 电 沿 | | 岩 河 内 | 中河内 | 南河内 | 堺市 | 泉州 | 大阪市 | 報告数府内累積 |
|---------------|--|-------------|-----|---|-------|-----|-----|----|----|-----|---------|
| 3類感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 2 | | 1 | | | | | | 1 | 20 |
| 4類感染症 | 日本紅斑熱 | 1 | | | | | | | 1 | | 3 |
| | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 1 | | | | | 1 | | | | 6 |
| | 後天性免疫不全症候群 | 4 | | 1 | | | | | | 3 | 34 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 1 | | | | | | | | 1 | 40 |
| 5類感染症 | 水痘(入院例) | 2 | | | | | 2 | | | | 6 |
| り換念未定 | 梅毒 | 14 | 3 | | | 1 | 1 | | | 9 | 517 |
| | 播種性クリプトコックス症 | 1 | | | | | | | | 1 | 2 |
| | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | 2 | | | | | | | | 2 | 9 |
| | 百日咳 | 1 | | | | 1 | | | | | 13 |
| 新型インフルエンザ等感染症 | 新型コロナウイルス感染症 15,849 2020年1月以降累計 970,959 | | | | | | | | | | |
| 結核 | 結核 新登録患者数:98名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 34名) | | | | | | | | | | |
| (2022年3月分) | (府内累積報告数 231名、内 肺・喀痰塗抹陽性 88名) | | | | | | | | | | |

(2022年5月31日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。 詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。